

# 炎に祈る。

迫町の小正月の風物詩「佐沼どんと祭・裸参り」が1月14日夜に開催されました。登米中央商工会青年部主催で今年35回目。裸参りには、同青年部や市職員、市内企業、市内関係団体、高校生など165人が参加。羽黒神社で祈願祭の後、白さらし姿の一行が登米・南三陸フェスティバルから津島神社までの約500メートルを厳かに行進しました。(21〜23ページ)

雪が降る中、口には「含み紙」、手には燃え盛るたいまつを持って裸参りを先導する若者

## 石越

恒例の石越冬のまつり



▲積み上げられた正月飾りやしめ縄に点火

## 一年間の無病息災を願う

どんと祭と冬の花火を組み合わせた「石越冬のまつり」が1月15日、石越総合運動公園特設会場で開催されました。夕方から行われたどんと祭では、来場者が持ち寄った正月の松飾りやしめ縄などに点火され、勢いよく燃え盛る御神火を見ながら、それぞれの願いを込めて手を合わせていました。また、今年で25年目を迎える冬の花火は、特別記念企画として石越小・中学校の児童生徒一人ずつに花火の玉皮に将来の夢や希望を書いてもらい、「夜空に輝く夢と希望」というテーマで、25連発の花火が打ち上げられました。

## 交通安全の記録に感謝状

南方町が12月30日をもって、交通事故ゼロ1000日を達成し、これを記念して1月7日、南方公民館で佐沼警察署の内海裕之署長から南方総合支所の千葉一吉支所長へ宮城県警察本部交通部長からの感謝状が贈呈されました。内海署長は「1000日達成は、市をはじめ、交通安全協会南方支部や町内の各団体、事業所の皆さんの地道な活動の賜物。今後もこの記録を伸ばしていけるよう頑張ってもらいたい」と激励。贈呈式後の無事故祈願では、交通安全団体などの代表60人が、交通事故ゼロの継続に向け決意を新たにしました。

交通死亡事故ゼロ1,000日

## 南方



▲内海佐沼警察署長(左)から感謝状が手渡されました

## 津山

年末年始の地域防犯運動



▲町内の金融機関を訪問し、防犯強化を呼び掛けました

## 防犯は日々の積み重ねから

12月1日から1月7日までの38日間展開された「年末年始における地域安全運動」に合わせて、登米警察署の協力の下、市津山地区防犯指導隊による防犯運動が実施されました。12月17日には、町内四つの金融機関を訪問し、防犯への強化・協力を依頼。居合わせた来客者に「振込め詐欺」などに注意するよう呼び掛けました。また、23日には、登米警察署から委任された仮設住宅に住む「地域防犯サポーター」と一緒に町内にある南三陸町仮設住宅を戸別訪問し、年末年始の防犯強化を呼び掛けました。